

## シンポジウムこの一年

1985年1月

20年以上もこのシンポジウムの事務を取り扱ってきた慶応工学会が事務の受託を取り止めたいと申し出たのは、82年12月下旬のことであった。西村恕彦氏らの努力により、情報処理学会が事務を引き受けて下さることになった事情は皆さん御承知のことと思う。84年4月より正式に情報処理学会が事務をすることとなった。この目度があった84年1月に西村氏は幹事長を辞められ、辻が後を引き継いだ。以後も西村氏には運営委員として移管に係る仕事をして頂いた。ここに、西村前幹事長に感謝の意を表したい。

情報処理学会に事務が移管すると同時に、情報処理学会のプログラミングシンポジウム委員会という特別の委員会となった。本シンポジウムは情報処理学会の中の委員会となったが、運営は従前と同様に行われる。新体制になって初めての夏のシンポジウムが84年7月に筑波大学で行われたが、従来と全く同様に開くことができた。また、若手の会も然りである。事務移管を契機に、学会誌の緑のページにこのシンポジウムから案内が載るようになったので、これ迄は直接に案内を出していたところを経費削減もあってこれを止めさせて頂くこととした。今後は学会誌上の案内を御覧下さる様お願いする。

諸兄御存知のことであるが、このシンポジウム育ての親である山内二郎先生が86歳の天寿を全うされ、昨年3月31日御逝去された。ここに慎んで先生の御冥福をお祈りする次第である。

現在の幹事は、有山正孝（夏）、角田博保、栗山幸造、野寺隆、三浦大亮、三好和憲、安村通晃の7名である。

幹事長 辻尚史

本 PDF ファイルは 1985 年発行の「第 26 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトに、下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載し、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

[https://www.ipsj.or.jp/topics/Past\\_reports.html](https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html)

#### 過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者 (論文を執筆された故人の相続人) を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者搜索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 ([tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp](mailto:tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp)) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>